笠南中だより

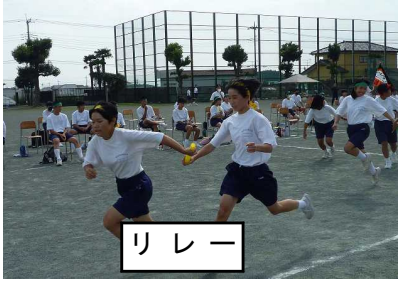
みどり市立笠懸南中学校
令和5年 10月 2日 第８号
校 長 大 澤 智

特集「体育祭」

９月２７日、厳しい暑さが一段落した過ごしやすい日に体育祭が開催されました。今年は生徒会の発案で、学年種目として綱引きが導入されました。新型コロナの影響もあり、何年もの間、学校で行うことができなかった綱引きが今回の体育祭で復活したことになります。クラス全員が一本の綱にしがみつき、歯を食いしばりながら綱を引く姿、勝利に喜びを爆発させる姿は、ポストコロナを象徴する光景でした。

徒競走、二人三脚、障害物競走、リレーどの競技も接戦でした。どのクラスも一歩も譲りません。そんななかでも、生徒たちは、一番最後にゴールをする選手を温かい拍手で迎えていました。ただ勝てば良いというのではなく、みんなのことを考え、みんなで体育祭を盛り上げようとする生徒の姿に心をゆさぶられました。

今年は、新型コロナに関わる制限もなくなり、多くの方々に参観していただくことができました。「自分も一緒に競技に参加したいくらいでした。」「先生方の熱い指導に感動しました。」参観いただいた方から、こんな感想をいただきました。お忙しいところ生徒たちの活躍に熱い声援をお送りいただきました保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。


リ レ ー

綱 引 き

部活動対抗リレー

１００ｍ 走

二人三脚リレー

障害物競走

学力向上の秘訣とは

２学期は、１０月５日に中間テスト、１１月２１日から期末テストが実施されます。特に、３年生にとって、２学期のテストは進路に関わる大切なテストとなります。一夜漬けでは、学力向上は望めません。数週間前から、計画的に、テスト勉強に取り組むよう学校でも指導していきますので、ご家庭でもお声かけいただけると有り難いです。

では、計画的に勉強することの他に、学力を向上させる秘訣はあるのでしょうか。あります。その一つが「アウトプット」を充実させることです。詳しくは、次ページをご参照ください。

子育ての知恵＜No.2＞～子育てに役立つ情報をお届けします～

なぜ、Kさんは伸び悩んでいたのか

Kさんは勉強をしているけれど、なかなか成績が伸びないので悩んでいました。
Kさんは、授業で先生の話によく耳を傾け、きれいにノートにとっていました。
Kさんは、教科書に赤線を引き、大切なところを繰り返し覚えていました。
それなのに、なかなか成績が伸びなかったのです。

なぜ、Kさんは、成績が伸び悩んでいたのでしょうか。
それは、

「アウトプット」が少なかったからです。

Kさんの学習の様子をくわしく見てみます。
「授業で先生の話をよく聞く」も「きれいにノートにとる」も「赤線を引く」も「覚える」もすべて、情報を頭に入れる作業になっています。
情報を頭に入れることを「インプット」と言います。

これに対して「問題を解く」や「学習したことを書いてみる」など、頭に入れた情報を使うことを「アウトプット」と言います。
実は、Kさんの学習では、この「アウトプット」が少なかったのです。

ある予備校に成績が良いクラスと成績がふるわないクラスがありました。
そこで、成績がふるわないクラスでは、授業の終わりの５分間をその日に学んだことを書く時間に充てたのです。
「その日に学んだことを書く」という「アウトプット」を繰り返したのです。
その結果、およそ半年後、成績がふるわないクラスの生徒が、成績が良いクラスの生徒を次々と追い抜いていったのです。
このようなことから、頭に入れた情報を使う「アウトプット」が、成績を上げるために重要であることが分かりました。

Kさんの成績が伸びなかったのは、この「アウトプット」が少なかったのです。
もちろん、成績を伸ばすためには、先生の話をよく聞くことも、きれいにノートをとることも、赤線を引くことも大切であることは言うまでもありません。
しかし、それ以上に「問題を解く」や「学習したことを書く」など頭の中に入れた情報を使うような学習をすることが、成績を伸ばすためには、より大切になるのです。

【参考文献】林　成之　著「子どもの才能は３歳、７歳、１０歳で決まる」
幻冬舎新書